

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名						
柔道4						
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名	実務経験		
柔道整備学科・夜間部	3年	3・4期	新井 丈夫			
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数
専門基礎分野	保健医療福祉と柔道整備の理念			実技	1	18

科目概要

柔道整備師としての柔道の位置付け、役割を理解してもらうことにより『精力善用』『自他共栄』『相助相譲』の精神を柔道を通じて学び、将来の国民医療の一旦を背負う柔道整備師として『心・技・体』の充実を図りたい。

目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	本来、柔道整備師としての柔道教育は、競技目的の柔道を教育するものではなく、昇段を目指し柔道整備師の技術のバックボーンである手技や人格の形成・心身の鍛錬を目的とし、人としての振舞いの基本(人に対しての接し方や対話の仕方)礼儀作法の習得が最終目標である。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	①正しい礼法(立礼、坐礼)を習得する ②正しい受け身を習得する ③投の形を練習を集中的に行い習得を目指す。 ④乱取りにて正しい受け身の取り方、投げ技の習得を目指す					
履修に必要な予備知識や技能							
3年間の柔道の集大成として講道館柔道初段取得を目指し、黒帯になることにより有段者として見本となつてラス全体のまとめ、私生活でも有段者の自覚、振る舞いなど人間形成に役立てる。							
教科書・参考書							
受講上の注意							
・柔道審査を受審する者としての身嗜み(爪、頭髪、髭、化粧など)が適切である。・装飾品はつけない。 ・診断書や通院領収書提出時は見学を認め、レポート提出し出席とする。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
				60		40	100
評価割合(%)	実技試験実施要項						
回数	授業内容				教科書	教材・持ち物	
第1回	準備体操、柔道着の着方、受身、マットを使って投げ込み、投の形(手技)、約束乱取り					柔道衣	
第2回	準備体操、受身、マットを使って投げ込み、投の形(腰技)、約束乱取り					柔道衣	
第3回	準備体操、受身、マットを使って投げ込み、投の形(足技)、約束乱取り					柔道衣	
第4回	正しい受け身(後方、側方、前方)の説明、乱取り、連絡技の説明、マットを使って投げ込み					柔道衣	
第5回	礼法、受け身、乱取り、投の形(手技)の説明、マットを使って投げ込み					柔道衣	
第6回	礼法、受け身、乱取り、投の形(腰技)の説明、マットを使って投げ込み					柔道衣	
第7回	礼法、受け身、乱取り、投の形(足技)の説明、マットを使って投げ込み					柔道衣	
第8回	礼法、受け身、乱取り、投の形(手技)の説明、マットを使って投げ込み					柔道衣	
第9回	礼法、受け身、乱取り、投の形(腰技)の説明、マットを使って投げ込み					柔道衣	
第10回	礼法、受け身、乱取り、投の形(足技)の説明、マットを使って投げ込み					柔道衣	
第11回	礼法、受け身、マットに投げ込み、約束乱取り、投の形(手技)のマット投げ、礼法をつけて正式な形の練習					柔道衣	
第12回	礼法、受け身、マットに投げ込み、約束乱取り、投の形(腰技)のマット投げ、礼法をつけて正式な形の練習					柔道衣	
第13回	礼法、受け身、マットに投げ込み、約束乱取り、投の形(足技)のマット投げ、礼法をつけて正式な形の練習					柔道衣	
第14回	礼法、受け身、マットに投げ込み、約束乱取り、投の形(手技)のマット投げ、礼法をつけて正式な形の練習					柔道衣	
第15回	礼法、受け身、マットに投げ込み、約束乱取り、投の形(腰技)のマット投げ、礼法をつけて正式な形の練習					柔道衣	
第16回	礼法、受け身、マットに投げ込み、約束乱取り、投の形(足技)のマット投げ、礼法をつけて正式な形の練習					柔道衣	
第17回	実技試験					柔道衣	
第18回	解説授業					柔道衣	
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
t.arai-t@nihonisen.ac.jp							